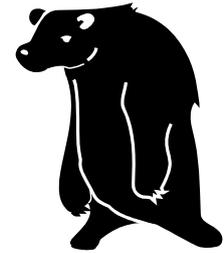


NTAAニューズレター
2015年 11月 第91号



発行 日本テクニカルアナリスト協会

URL <http://www.ntaa.or.jp>

E-mail office@ntaa.or.jp

編集 総務部

目次

1. 第13期（平成27年度）第4回理事会報告
2. 第13期（平成27年度）第5回理事会報告
3. 協会インフォメーション。

1. 第13期（平成27年度）第4回理事会報告

平成27年9月2日今年度第4回理事会が開催されました。出席者は理事9名、監事3名、理事長補佐1名、普及・啓発活動部門長及び部長3名、事務局2名計18名が出席しました。

【議決事項】

第1号議案 理事会内規6号一部改定の件

（第1次通信教育添削、資格試験にマークシート方式導入に伴う原稿料、資格試験等の報酬規定の改定）

第1号議案は原案通り全員賛成にて承認されました。

【報告事項】

- ・第2回理事会にて理事長一任とした海外出張追認の件は青木俊樹理事長より、国際部長からの海外出張申請書の提出があり内容確認の結果申請書に瑕疵なく支払いが完了したとの報告がありました。
- ・IFTA 東京大会準備委員会より開催まで日が迫っているが準備は順調にすすんでいるとの報告がありました。

2. 第13期（平成27年度）第5回理事会報告

平成27年11月11日今年度第5回理事会が開催さ

れました。出席者は理事9名、監事3名、普及・啓発活動部門長及び部長3名、事務局1名計16名が出席しました。

【議決事項】

第1号議案 機構改革の件

（協会組織、普及・啓発部門の一部改革、事務局体制の一部改革）

- ・IFTA 東京大会の終了に伴う改革で国際部門及び国際部を廃止する。（理事会内規17号の第4条4）
- ・事務局にシステム部を新設し体制の強化を図る。（理事会内規第5条3、第6条4）

従来システム委員会を事務局内の部に変更。今後事務局は総務部、業務部、経理部、システム部の四部体制となる。

議案は資料に基づき詳細な説明があり審議の結果全員一致にて承認可決されました。

【報告事項】

- ・IFTA 東京大会の終了に伴う総括の報告が本間理事よりあり東京大会については海外参加者からも称賛の声が多く、反面ネガティブな意見は皆無で大成功だったとの報告でありました。
- ・IFTA 東京大会の収支報告が経理部長よりあり収支は黒字で終わることができたとの報告がありました。
- ・昨年12月に発行した「テクニカル分析ハンドブック」の第2冊目の発行準備に取り掛かっているとの報告がありました。

3. 協会インフォメーション

- ・10月2日から10月4日の3日間IFTA2015 東京大会が東京新宿の京王プラザホテルのエミネンスホールにて開催されました。東京開催は14年振りでしたので事務局では2年前より開催に際しての

準備委員会を発足させ準備をしておりました。
前回開催から時間が経っていたこともあり、白紙の状態から準備を進めざるを得ませんでした。紆余曲折の中、会員の皆様のご協力のもと無事開催にこぎつけることができた次第です。

また今、東京大会は公的機関の JPX（日本取引所グループ）、JNTO（日本政府観光局）の後援及び13社のスポンサー企業のご支援も頂き盛大に開催することが出来ました。

3日間の内容も充実し、会場の京王プラザホテル、ガラディナー会場の明治記念館の評判もよく、参加登録者は海外23カ国、123名、国内100名計223名と多くの方の登録がありました。沢山の皆さまが参加され、またスポンサー企業の方々、マスコミ関係も多くの方が来場され、国際色豊かで大盛況のうちに終了することができましたことをご報告いたします。

ご参加いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。大会の様子については協会HP、及びFB等をご覧ください。

- ・今回、IFTA 東京大会の終了に伴い、協会内部の機構改革を行いました。国際部門と国際部を廃止し、国際関係は国際企画部に集約しました。IFTA 東京大会を開催したことにより IFTA とはより親密な関係となることができましたので今後は国際企画部で対 IFTA リエゾン機能を含む国際関連業務の企画立案・実行を推進していく所存です。
- ・また、委員会として活動していたシステム委員会を廃止し、システムの充実を図るために事務局内にシステム部を新設しました。今度事務局は総務部、業務部、経理部、システム部の四部体制となります。
- ・今年度冬期の第1次通信教育口座の受講者募集をしております（11月1日～12月18日）。この際お知り合いの方に一声おかけいただき多くの非会員が受講参加できるようにご協力ください。

（HPをご参照願います）

- ・IFTA 東京大会の一大イベントも終わり、これからは以前にも増して会員サービスの充実を第一に活動していきます。会員の皆様からの建設的なご意見、ご希望をどしどし事務局までお寄せください。

（了）